



Title	はしがき
Author(s)	鈴木, 賢
Citation	北大法学論集, 44(4), 216-216
Issue Date	1993-12-20
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/15541
Type	departmental bulletin paper
File Information	44(4)_p216-216.pdf



はしがき

今回から本欄において、文部省科学研究費補助金を受けて日韓で年に一度ずつ開催する共同研究会の成果を、いよいよ逐次公表していくこととなった。プロジェクト全体の趣旨、成立のいきさつについては、本誌四四巻二号掲載の今井弘道研究代表による「はしがき」に記されているのでここでは繰り返さない。

以下に掲載する四本の報告は、いづれも平成四年度の訪韓の際に行われた第一回研究会における報告を基本的に再現するものである。一九九二年九月一五日から一八日、日本側のメンバーのうち、今井弘道（北海道大学）、鈴木敬夫（札幌学院大学）、五十嵐清（札幌大学）、千葉正士（当時東海大学）、鈴木賢（北海道大学）がソウルを訪問し、本プロジェクトの韓国側研究メンバーとの初顔合わせを行った。九月一七日午前、ソウル大学校においてそれぞれが分担するテーマの説明とそれに関連した意見の交換を行うとともに、本プロジェクト全体の運営計画等につき打ち合わせを行った。さらに、同日午後には場所を高麗大学校に移して、韓国IVRの年次研究会に合流する形で本号掲載の各報告が行われ、合同で討論が展開された。以下に当日

の報告順にしたがい報告原稿を掲載する。

なお、沈在宇報告、崔鍾庫報告は韓国語で行われたものであり、岡克彦氏（ソウル大学校大学院）に翻訳をお願いした。

（文責 鈴木賢）